1.適用範囲

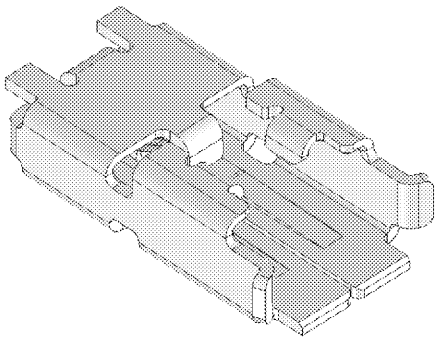
本書は、DF59M-1S-H および DF59M-****PC(F)の挿入・抜去を行う際の手順および
ご使用方法について規定するものです。

本書には、本製品を安全に使用するための一般的な指針や注意事項が述べられています。
本書の記載内容と異なる作業方法で本製品を使用された場合、コネクタ破損等の予期せぬ
トラブルに繋がる恐れがあるため、製品をご使用頂く前に必ず熟読し、十分にご理解頂く
ようお願いします。

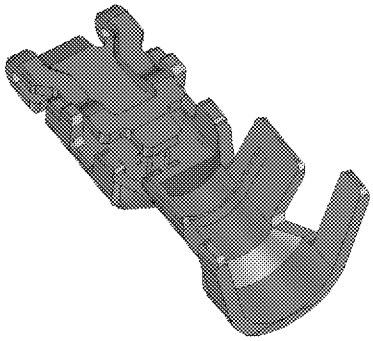
また、DF59M は金属のみのコネクタの為、挿抜手順およびご使用方法には特にご注意頂くと
共に、本製品を実際にご使用する方のお手元に必ず届くようにお取り計らい下さい。

2.コネクタ品名

品　　名	名　　称
DF59M-1S-H　□1	レセプタクル
DF59M-***PC(F)	圧着端子



DF59M-1S-H レセクタプル



DF59M-****PC(F)　圧着端子

図 1.DF59M コネクタ

	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
⚠	1	DIS-H-008759	SZ.ONO	HK.UMEHARA	14.05.16

名　称　TITLE

DF59M　操作手順書

HRS HIROSE ELECTRIC CO.,LTD.

APPROVED	KI.AKIYAMA	14.04.22
CHECKED	HK.UMEHARA	14.04.22
DESIGNED	SZ.ONO	14.04.22
WRITTEN	SZ.ONO	14.04.22

技 術 指 定 書　TECHNICAL SPECIFICATION　ATAD-H0779　⚠　1 / 6

FORM HC0011-9-1

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

3. 作業手順

3-1-a. 挿入

ケーブルをもって、嵌合の誘いを頼りに位置を合わせてください。

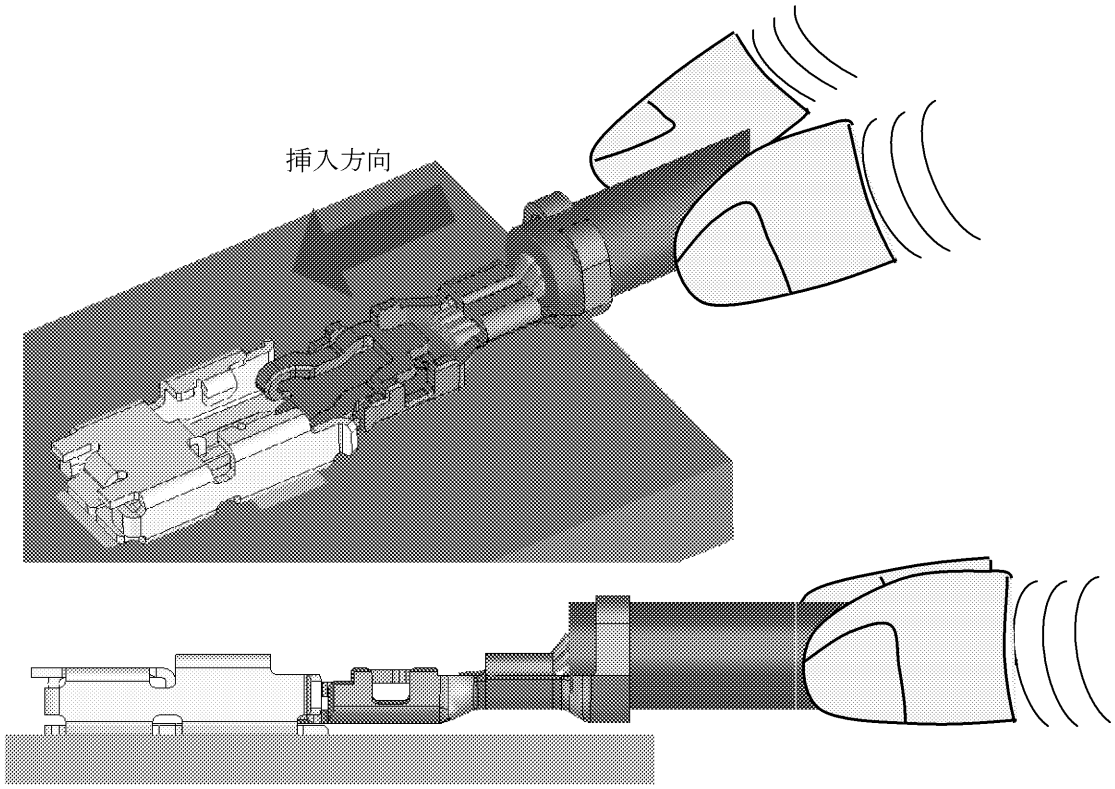


図 2. 挿入方法

合わせた位置を保ちながら、嵌合が突き当たるまで水平に挿入して下さい。
嵌合時にロックが変位して、軽く「カチッ」と音がなります。

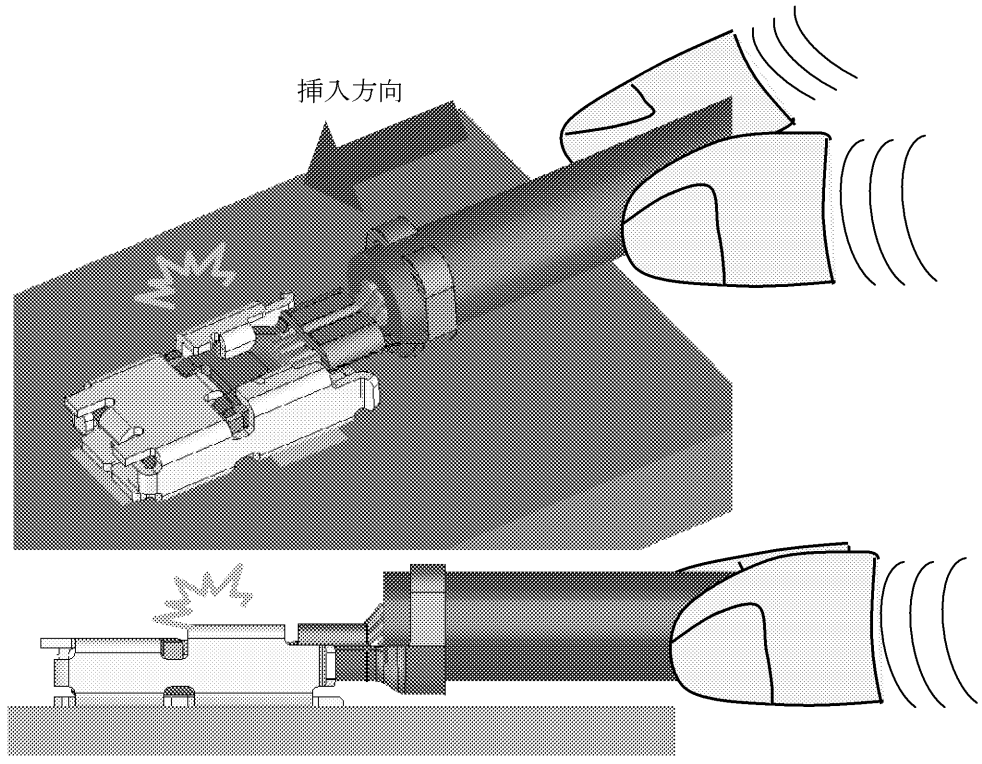


図 3. 挿入方法

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

品質に影響を与える恐れがありますので、禁止マーク図の様に、斜め挿入する
ことはしないで下さい。(左右、上下ともに)

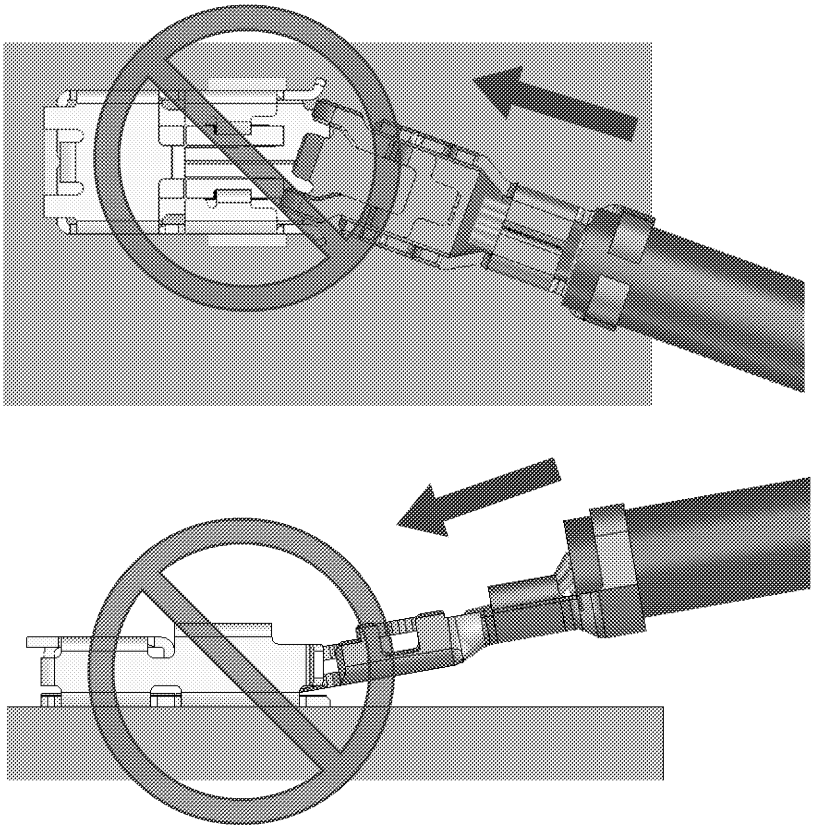


図 4. 挿入方法

3-1-b. 嵌合確認

レセプタクルと圧着端子が確実に嵌合されていることを確認して下さい。
(圧着端子のロックがレセプタクルのロックに引っ掛かっていることを、目視または
ケーブルを掴んで軽く引っ張って確認して下さい。)
嵌合の外し方は 3-2. 嵌合抜去をご確認下さい

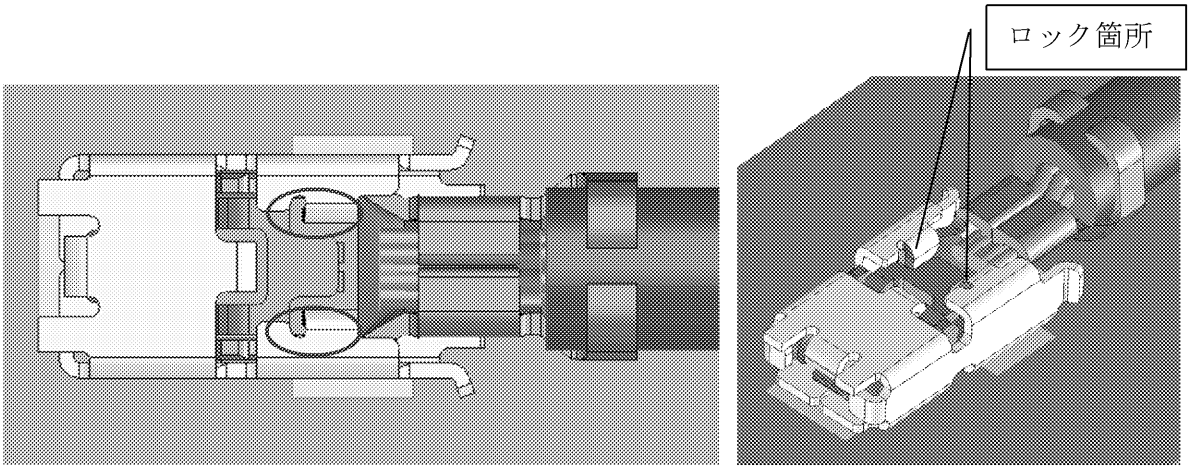


図 5. 嵌合確認

注) 圧着端子の挿入は、レセプタクルに突き当たるまで押して下さい。

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

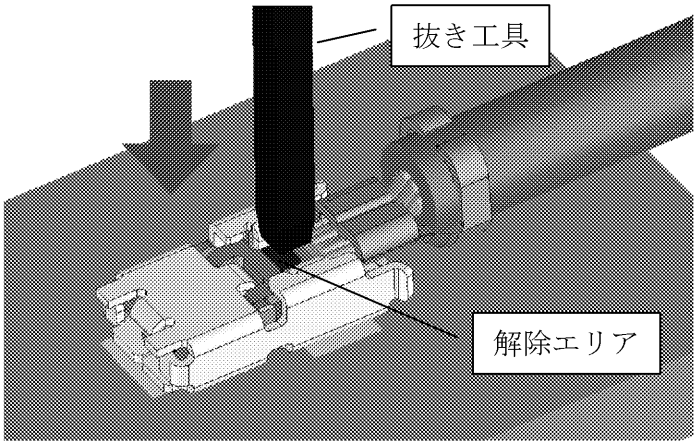
3-2. 抜去

抜去作業には、下記に規定する抜き工具の使用を推奨します。

品　　名	名　　称
DF-C-PO(A)	抜き工具

3-2-a. 抜去-1

抜き工具を青箇所（図 6）に押し付けてロックを解除します。



注）
抜去治具先端がレセクタプル
に干渉しないようご注意下さい。

図 6. 抜去方法

ロックを解除した状態（抜き工具を押し付けた状態）で、ケーブルをもって圧着端子を抜去します。

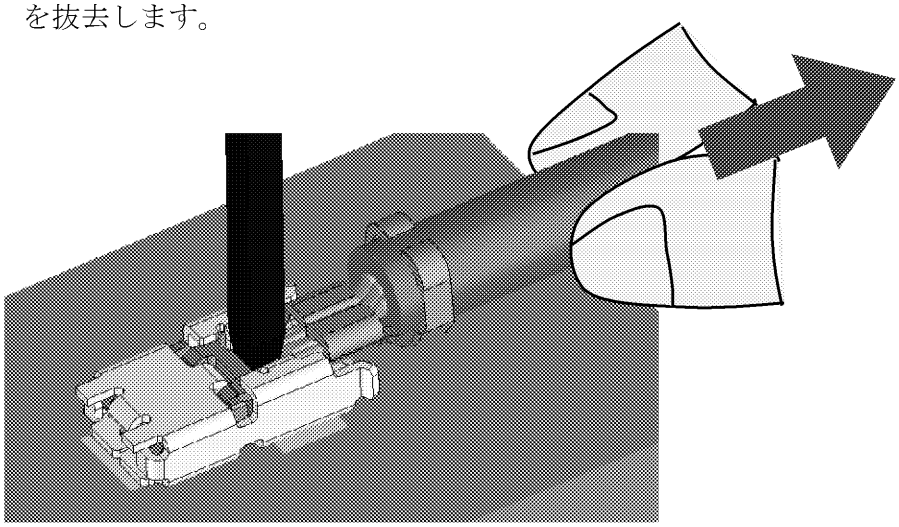


図 7. 抜去方法

注）過度の力をかけ過ぎると、コネクタ変形の恐れが有りますので、ご注意下さい。
ロック部は軽い力で変位します。
小型コネクタの為、抜去操作は十分ご注意下さい。

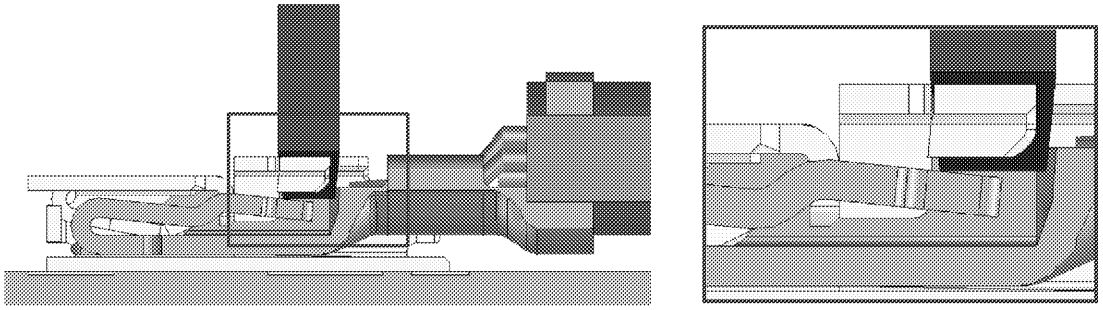


図 8. 抜去方法

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

4. ご使用注意点

4-1. ケーブル引き回し

ケーブル被覆部を圧着し導体結線部への機械的ストレスを保護しておりますが、嵌合状態で過度のケーブル引き回しを繰り返すと、被覆圧着部からケーブル破断の恐れがありますので、お控え下さい。

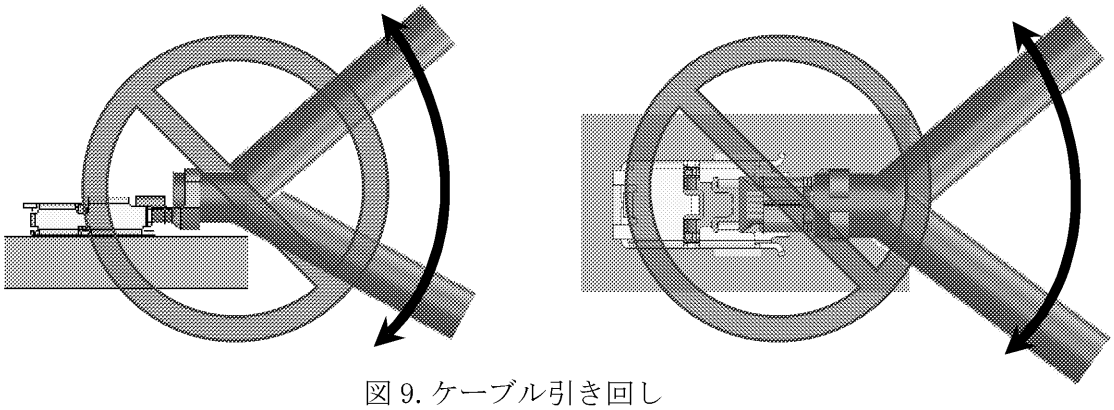


図 9. ケーブル引き回し

4-2. 基板レイアウト

本コネクタは絶縁物が無く金属のみで形成されている為、コネクタ単体での絶縁性はありません。その為、通電中にコネクタに触れることが絶対に無い様にして下さい。
また、定格電圧についてはご使用セットで想定する必要距離をコネクタから離してレイアウトして下さい。

例）基板パターン間　／　基板端面（導体部の場合）と圧着端子間、
基板パターンと基板端面（導体）間　／コネクタと他部品（パターン含む）間
など全方向に対して必要沿面距離をとって下さい。

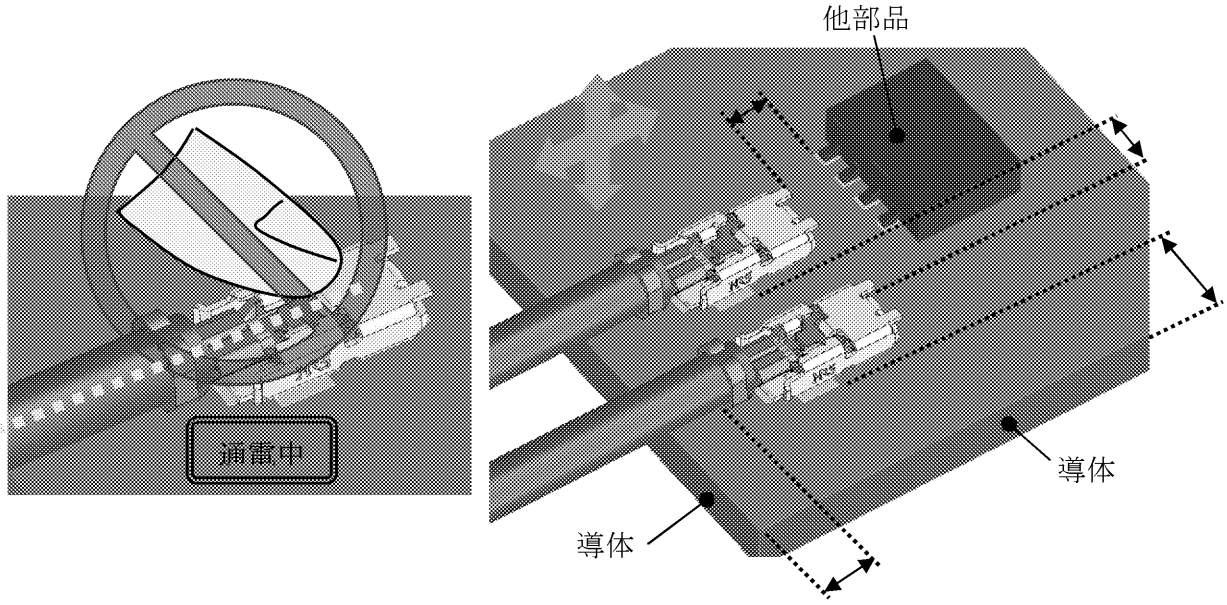


図 10. 基板レイアウト

【耐圧目安】

IEC60664 および JIS C 60664 規格においては、定格電圧 300Ｖで 1.6mm以上の沿面距離が必要となります。（プリント配線材料　汚染度 2 において）
ご使用となる電圧に対する必要沿面距離および空間距離に関しましては、セット上で適用されます認証規格等に従い、設定して下さい。

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

図示する箇所に他部品の銅箔パターンをレイアウトすることはお控え下さい。
やむを得ず銅箔パターンを引く場合は、必ずレジストを設けて下さい。

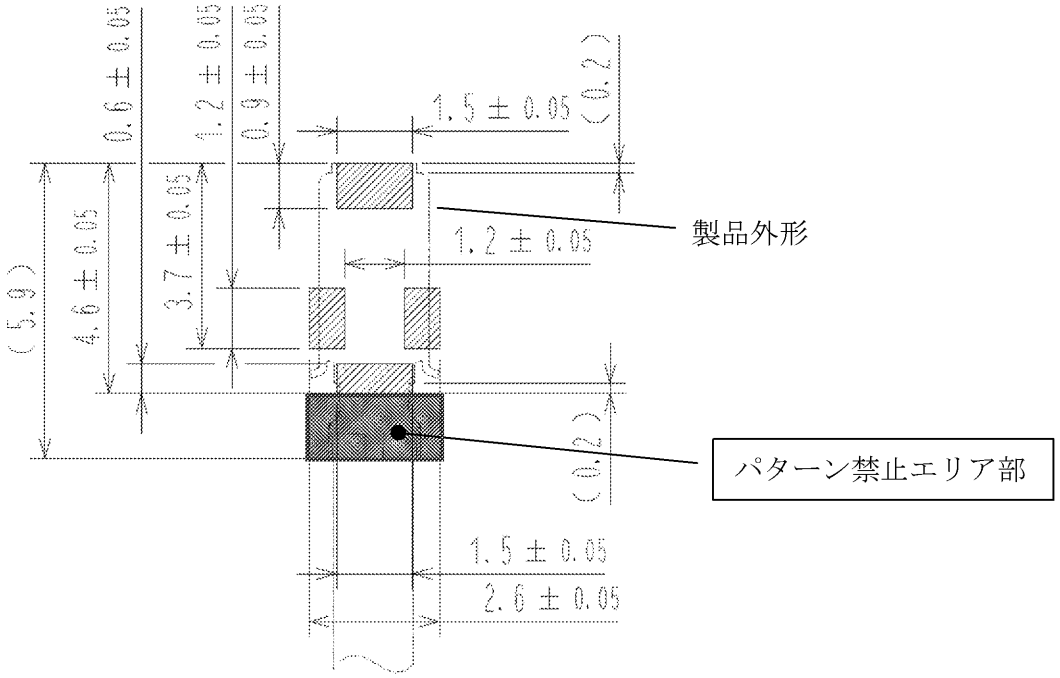


図 11. 基板レイアウト

5. 注意事項

・電気を流したまま挿抜は行わないでください。
・コネクタに過大な外力が加わりますと、障害や破損を引き起こす場合がありますので、
無理な挿抜、落下衝撃が無いようにご配慮ください。

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.